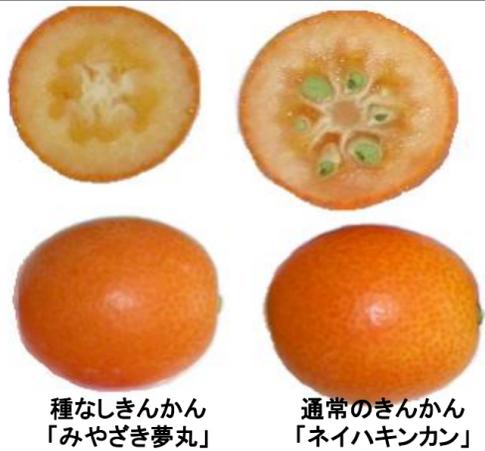


種なしきんかん「みやざき夢丸」



商品名	みやざき夢丸
品種名	「宮崎夢丸」
果実の特徴	<p>～「きんかん」とは～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生で皮ごと食べることができる唯一のかんきつ。 ・ハウス栽培の果実は生でそのまま食べる、露地栽培の果実は甘露煮やピューレなどの加工用途に向いています。 <p>～「みやざき夢丸」とは～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県総合農業試験場が育成した種なしのきんかん品種。平成22年に品種登録。 ・完全種子を全く含まず、非常に甘く、酸味が少ない食味の良いきんかん。 ・加工の際に種を取る手間がかかりません！

収穫時期	露地：12月中旬～1月下旬 ハウス：12月下旬～2月下旬	出荷荷姿	
生産量	平成30年産は露地200kg、ハウス250kg程度		
栽培面積	約60a(8名)		

宮崎のきんかんいろいろ	<p>【みやざき夢丸】(ハウス、露地) ハウスの果実：生食向け。気軽にパクッ！そのまま食べてとってもおいしい(糖度18度以上)。種もなし！</p> <p>露地の果実：加工向け。種取りの手間が省け、お料理に使いやすい！</p> <p>参考情報 【たまたまエクセレント】(ハウス) そのまま食べてとってもおいしい(糖度18度以上) とってもきれいな外観 食べ頃2～3月 【たまたま】(ハウス) そのまま食べてかなりおいしい(糖度16度以上) 食べ頃2～3月 【温室きんかん(早期出荷)】(ハウス) 料理にも、ときにはそのままでも用途はさまざま。 食べ頃11～12月 【露地きんかん】 お手頃で、お料理や甘露煮に最適。 食べ頃12～1月</p>	みやざき夢丸 出荷規格	階級(大きさ) <small>※きんかん全般の階級</small>	1果の基準果径(mm)	等級			
					ハウス 糖度18度以上		露地	
					A	B	規格外	A
					A・2L	B・2L	規格外 M	A・L A・M
					L	28以上～32未満		
		M	24以上～28未満					
		S	24未満	S	S			

宮崎県のきんかんと「みやざき夢丸」の歴史

【きんかんの来歴】
きんかんの原産は中国で、日本には伝わったのは1828年、中国浙江省寧波の船が難破し、静岡に寄港した際に砂糖漬けの果実として伝わったと言われています。ネイハキンカンという呼び名は寧波の船から伝わったことが起因しているようです。

【「みやざき夢丸」誕生秘話】
きんかんは宮崎県で栽培面積109ha、収量2,629ト(平成28年産)。その品種はほとんどが「ネイハキンカン」です。
■「ネイハキンカン」には種が多く含まれているため、生食での食べやすさ、加工・業務用途での種取り労力の削減のために、昔から種なし品種の育成が求められていました。
■約20年間の育種の末、種なしきんかん「宮崎夢丸」を品種登録。H20年度から現地にて試験的な栽培を開始し、現在は県内8か所で実証栽培に取り組んでいます。

栽培管理の特徴

- ・たくさんの実がなるように、枝を倒して樹形を低くしたり、樹の勢いをコントロールするなど、手間と愛情をかけて育てています。
- ・絶妙な温度管理と徹底した土壌管理により、甘くて美味しい果実を作っています。
- ・病害虫の発生に注意を払い、外観の良い果実を作っています。

「みやざき夢丸」の用途

～ハウスの果実は生で～
①皮ごとまるかじり
②夢丸シャンパン
シャンパンの酸味とあわせて、夢丸の甘さが引き立ちます。

～露地の果実は加工向き～
③みやざき夢丸の甘露煮
■材料(4人分)
みやざき夢丸…500g
■調味料
砂糖…200g
■調理手順
(1) きんかんは水で洗い、へたを取る。
(2) 鍋にきんかん、砂糖を入れて、弱火で60分煮る。
(3) みやざき夢丸の果実は酸味が控えめなので、お好みで酸味を足してもgood!

そのままパクッ!

丸ごと使えて種取りいらず!

生産者と連絡先

H30現在、みやざき夢丸の生産者は8名(日南市、日向市、西都市、綾町、美郷町など)
連絡先: JA宮崎経済連 販売流通課
TEL:0985-31-2162
FAX:0985-31-5794

このパンフレットに関する問い合わせ:
宮崎県農業経営支援課 専門技術指導担当(果樹)
TEL:0985-26-7134
FAX:0985-26-7325

土地の特徴

冬期の日照時間が日本トップクラスの宮崎では、柔らかく甘いきんかんをつくることができます。

主な産地情報

(Mapion HPより) 平成31年1月

研究成果カード	番号	
---------	----	--

種なしキンカン「宮崎夢丸」の結束バンド締付け処理による結果率向上							
〔要約〕種なしキンカン「宮崎夢丸」において、結果前年に結束バンドを主幹部または主枝部に処理することにより、1番果の結果率が向上する。							
総合農業試験場亜熱帯作物支場				連絡先		0987-64-0012	
部門	果樹	専門	栽培	対象	カンキツ	分類	技術・普及

〔背景・ねらい〕

種なしキンカン「宮崎夢丸」は、樹勢が強く結果が安定しない。そこで、処理・撤去が容易なプラスチック製結束バンドを主幹・主枝部に処理し、樹皮に食い込ませることで結果率向上に及ぼす影響について検討する。

〔成果の内容・特徴〕

1. 主幹部への結束バンド処理を行うと、1番果の結果率が高くなる（表1）。
2. 主枝部への結束バンド処理を行うと、1番果の結果率が高くなる（表2）。

〔成果の活用面・留意点〕

1. 耕種概要

- ・現地生産者露地ほ場（日南市南郷町）、主幹部処理
2012年植栽(2017年調査時6年生、2016年処理開始)、火山灰土壌
- ・亜熱帯作物支場内施設（日南市南郷町）、主枝部処理
2017年植栽(2018年調査時3年生、2017年処理開始)、鉾質土壌

2. 処理の概要

- ・結束バンドの規格：200mm×3.6mm、素材：ナイロン66
- ・結果前年の10月に主幹部（接ぎ木部より3cm上）または主枝部（主幹分岐部より3cm上部、1樹あたり3～4処理）に処理した（写真1）。
- ・連年処理については、前年処理部分から位置をずらして結束を行った。

3. 留意事項

- ・結果を確認した後（9月頃）に、結束バンドの除去を行う。
- ・樹皮に食い込む事で効果が現れるため、食い込みがみられない場合は処理期間を延長する。ちぎれ等により樹皮の癒合がみられる場合は適宜再処理する。
- ・処理中は樹勢に注意し、著しい樹勢の低下がみられる時は結束バンドを除去する。
- ・本処理により枝折れが発生することがあるため注意する。

4. この成果は県内「宮崎夢丸」栽培地域(中部・南那珂・北諸県・東臼杵南部等)において、結果率向上を目的とした指導資料として活用可能である。

[具体的データ]



写真1 結束バンド処理の状況（左：主幹部、右：主枝部）

表1 主幹部への結束バンド処理が「宮崎夢丸」の結果率に及ぼす影響（2017年）

区	1番花数	2番花数	1番果数（結果率）		2番果数（結果率）	
	個	個	個	(%)	個	(%)
処理	15.2	5.2	2.1	(13.8)	0.3	(5.8)
無処理	14.2	6.7	1.3	(9.2)	0.3	(4.5)
有意性	n.s.	n.s.	*	-	n.s.	-

注1)開花盛期 1番花：7/13、2番花：7/27

注2)各樹15cm程度の結果枝10本にラベリングして花及び果数を調査。数値は結果枝1枝あたりの平均値。

注3)結果率は、結果数調査を9/1に行い、各時期花数を基準(100%)として算出

注4)N=3 *はt検定において5%水準で有意差あり

表2 主枝部への結束バンド処理が「宮崎夢丸」の結果率に及ぼす影響（2018～2019年）

2018						
区	1番花数	2番花数	1番果数（結果率）		2番果数（結果率）	
	個	個	個	(%)	個	(%)
処理	9.3	4.2	1.5	(16.1)	0.4	(9.5)
無処理	15.8	3.0	0.1	(0.6)	0.9	(30.0)
有意性	n.s.	n.s.	*	-	n.s.	-
2019						
区	1番花数	2番花数	1番果数（結果率）		2番果数（結果率）	
	個	個	個	(%)	個	(%)
処理	13.7	7.7	2.5	(18.2)	0.6	(7.8)
無処理	13.6	6.4	0.8	(5.9)	0.4	(6.3)
有意性	n.s.	n.s.	n.s.	-	n.s.	-

注1)開花盛期 2018：1番花：6/20、2番花：7/10 2019：1番花：6/28、2番花：7/13

注2)各樹15cm程度の結果枝10本にラベリングして花及び果数を調査。数値は結果枝1枝あたりの平均値。

注3)結果率は、結果数調査を8上中旬に行い、各時期花数を基準(100%)として算出

注4)N=3 *はt検定において5%水準で有意差あり

[その他]

研究課題名：フードビジネス戦略に対応した宮崎特産柑橘の栽培技術開発（県単）
生産体制・技術確立支援事業（国庫）

予算区分：県単、国庫

研究期間：2017～2019年度

研究担当者：原ノ後翔

発表論文等：

研究成果カード	番号	
---------	----	--

施設栽培における「宮崎夢丸」の台木は、カラタチがヒリュウよりも収量面で優れる							
[要約] 「宮崎夢丸」の台木は、ヒリュウでは着色が優れるが、カラタチ台では樹冠拡大が早く結果枝当たりの着果数が多いため、収量も多い。							
宮崎県総合農業試験場 果樹部					連絡先	0985-73-7099	
部門	果樹	専門	栽培	対象	かんきつ類	分類	技術・参考

[背景・ねらい]

キンカン「宮崎夢丸」は種なしで食味の良い高品質な早生種である。しかし三倍体で樹勢が強いため結果性が不安定、とげの発生が著しい等栽培上大きな問題となっている。そこで、台木がカラタチとわい性台木のヒリュウによる樹勢や果実品質への影響を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 年によって開花時期（1～5番花）の着花数や着果数に違いが見られるが、台木による影響はない（表1）。
2. 1結果枝当たりの着果数は、カラタチ台で多い（表1）。
3. 果実糖度及びクエン酸含量（%）は、ヒリュウ台で高く、着色が良い（表2）。
4. 1樹あたり及び樹容積あたりの収量は、カラタチ台で多い（表3）。
5. 樹容積はカラタチ台で大きく、ヒリュウ台では緩慢である（表3）。
6. 樹冠拡大による収量確保のためには、カラタチ台が望ましい。

[成果の活用面・留意点]

1. 農業試験場内（宮崎市佐土原町）の火山灰土壌の中期展帳ハウスに植栽された、樹齢が2016年はカラタチ台5年生2樹と8年生2樹、ヒリュウ台5年生2樹と8年生2樹、2017年はカラタチ6年生1樹と9年生5樹、ヒリュウ台4年生1樹と7年生1樹と9年生2樹、2018年はカラタチ7年生1樹と10年生4樹、ヒリュウ台7年生3樹と8年生1樹と10年生1樹の「宮崎夢丸」を用いた。
2. 調査樹には、着果に耐える樹勢と十分な枝葉がある樹を選抜したため、樹齢が異なっている。

[具体的データ]

表1 調査年における各開花期の着花数及び着果数

調査年	試験区	1番花(6月上旬)			2番花(6月下旬)			3番花(7月上旬)			4番花(7月中下旬)			5番花(8月)			1結果枝 当たり 着果数(個)
		着花数 (個)	着果数 (個)	着果率 (%)													
2016年	ヒリュウ台	6.2	0.5	7 (35)	1.0	0.0	0.1 (0)	4.0	0.1	1 (9)	7.9	0.6	4 (45)	2.4	0.1	23 (10)	1.3 (100)
	カラタチ台	9.8	0.7	7 (38)	3.0	0.1	0.0 (4)	4.6	0.1	1 (4)	10.5	0.4	4 (21)	2.7	0.6	23 (33)	1.9 (100)
2017年	ヒリュウ台	7.1	0.3	4 (10)	3.0	0.0	0.0 (0)	10.5	0.1	0.0 (2)	2.3	1.0	43 (32)	1.7		56 (56)	3.1 (100)
	カラタチ台	7.3	0.2	3 (5)	1.4	0.0	1 (0)	9.9	0.1	1 (3)	3.8	1.9	50 (51)	1.6		43 (43)	3.7 (100)
2018年	ヒリュウ台	10.3	2.1	23 (84)	5.6	0.2	4 (8)	4.2	0.0	0 (0)	4.3	0.2	3 (8)				2.5 (100)
	カラタチ台	10.5	2.4	24 (80)	4.5	0.1	2 (5)	5.4	0.1	2 (5)	4.4	0.4	10 (10)				3.1 (100)

注) 1樹あたり10結果枝を調査、着果率は上段が着花に対する着果率、下段が総着果数に対する割合を示す。

表2 1番花開花190日後の果実品質

調査年	試験区	横径 (mm)	縦径 (mm)	果実重 (g)	着色歩合 (1-10)	カラー チャート	種子数(個)		果皮糖度 (Brix)	糖度 (Brix)	クエン酸 (%)
							完全	しいな			
2016年	ヒリュウ台	28.1	31.4	14.8	9.0	7.0	0.0	0.0	21.6	20.3	0.76
	カラタチ台	29.2	32.5	16.5	6.6	5.8	0.0	0.1	19.7	18.6	0.67
2017年	ヒリュウ台	27.5	31.1	14.2	9.8	9.3	0.0	0.1	22.4	20.7	0.79
	カラタチ台	29.7	33.4	17.1	9.5	8.9	0.0	0.1	22.5	19.9	0.68
2018年	ヒリュウ台	29.5	33.6	16.5	9.8	9.4	0.0	0.0	23.2	20.4	0.75
	カラタチ台	30.2	34.1	17.6	9.8	9.5	0.0	0.1	22.5	19.8	0.69

注) 分析日は2016年12月22日、2017年12月21日、2018年12月7日。

1樹10果を糖酸分析計(NH-2000)にて糖度とクエン酸を測定し、カラーチャートはオレンジ色系用(農水省果樹試監修)を用いた。

表3 各調査年の「宮崎夢丸」の台木別の収量

調査年	試験区	階級別重量(上段:kg 下段:%)						平均収量 (kg)	樹容積 (m ³)	収量/樹容積 (kg/m ³)
		S未満	S	M	L	2L	3L			
2016年	ヒリュウ台	0.1	0.5	1.1	0.2	0.0	1.9	0.9	2.2	
	5	27	54	11	2					
2016年	カラタチ台	0.6	1.6	4.2	1.9	0.3	8.6	3.4	2.6	
	7	18	49	22	3					
2017年	ヒリュウ台	0.02	1.0	3.2	1.3	0.1	5.6	2.0	2.7	
	0.3	18	56	23	2					
2017年	カラタチ台	0.06	1.8	7.7	4.7	0.5	14.7	3.8	4.1	
	0.4	12	52	32	3					
2018年	ヒリュウ台	0.1	0.5	1.7	0.8	0.1	3.2	1.6	2.0	
	2	16	54	25	3					
2018年	カラタチ台	0.1	1.9	6.1	3.0	0.2	11.3	3.6	3.1	
	0.9	17	53	26	2					

[その他]

研究課題名: 特産カンキツ生産性向上のための新系統の開発・育成(県単)
生産体制・技術確立支援事業(国庫)

予算区分: 県単、国庫

研究期間: 2016~2018年度

研究担当者: 山名宏美、鈴木美里、金丸俊徳、生頼由喜男、山口秀一

発表論文等: なし

問い合わせ先

宮崎県総合農業試験場果樹部	TEL (0985) 73-7099
宮崎県総合農業試験場亜熱帯作物支場	TEL (0987) 64-0012
宮崎県農産園芸課果樹担当	TEL (0985) 26-7137
宮崎県農業経営支援課専門技術指導担当 (果樹)	TEL (0985) 26-7134